

キャラクター名 プレイヤー名

傳刻 (もり きざむ)

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	年齢	性別	男
	パロール							
オプション	覚醒	渴望	衝動	恐怖	初期侵食率	39	%	
出自	安定した家庭		経験	心の壁	邂逅	奏舞 灯莉・苗ヶ瀬伊伴		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	1	0			1	行動値	17
感覚	4	0	3			7	(非装備時)	17
精神	3	0	0			3	戦闘移動	22
社会	1	0	0			1	全力移動	44

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃	4		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
死を思え、ともすれば最後	射撃	7r+4		4		斥力の矢
死神が時を打つ	射撃	8r+4		33		コンセントレイト+見えざる死神
100~	射撃	8r+4		42		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
闇使い《ダークロード》	P	N		
チルドレン訓練施設襲撃犯	P 好奇心	N 不安		
奏舞 灯莉 (かなむ あかり)	P 親近感	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
闇の指先	1	7	オート	視界	単体	自動	Dロイス	
効果: 対象が判定を行う直前に使用。判定のC値+1する。1ラウンド1回、1シナリオにLV回まで。								
斥力の矢	2	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 武器作成。種別: 射撃 技能:<射撃> 命中:-1 攻撃力:+[LV*2] G値:- 射程: 視界								
陽炎の衣	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 隠密状態になる。隠密状態はメインプロセス終了まで持続する。1シーンLV回まで。敵とエンゲージしていても隠密状態になれる。								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV (下限値7)								
見えざる死神	3	2	メジャー	武器	-	<白兵><射撃>削減	-	
効果: 隠密状態の間、使用できる。組み合わせた判定ダイス+1個し、攻撃力+[LV*3]する。								
デスストーカー	5	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: 《見えざる死神》隠密状態で行う攻撃の攻撃力+[LV*4]する。侵蝕率基本値+5する。								
見放されし地	★	-	メジャー	視界	-	自動	-	
効果: すべての光が遮断された空間を作り出す。シーン内の任意の空間を闇で閉ざす。空間のサイズは自由に縮める事ができ、形も任意で操作することができる。完全な闇ではなく、薄暗闇のように光量を変えることもできる。								
ポケットディメンジョン	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: 空間を捻じ曲げて、あり得ないはずの空間を作り出す。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「何? あんま見ないでよ…」

一人称: ボク 二人称: キミ、~さん、苗字呼び捨て

UGNIに所属する少年。人と深く関わることを嫌い、常に一線を引いたように接している。

せいべつはおとこ。ここはおんな。だれにもいえない、いやしない。

小さな頃から違和感があった。友達と話をしている、家族と話をしている、通りすがりの人たちの話を聞いて、どこか自分と「み合わない」事がよくあった。ある時、TVで「トランスジェンダー」の特集をしているのを見て(ああ、自分はそうなんだ)と腑に落ちた。そんな人たちが自分以外にも居たのだと、存在しているのだと思った。嬉しかった。

だけで、家族は言った。「気持ち悪い」「あんな人が居ると思うとぞっとする」嫌悪感の滲む声と表情に心からの言葉だと分かった。

ここに、じぶんのいばしょはないのだとした。

でもここ以外にどこで生きていけばいいんだろう? そんな時、同級生の苗ヶ瀬伊伴(なえがせ-いよう)に「一緒に自殺をしないか」とPC2と共に持ちかけられた。そうか、生きる場所が無いなら、死ぬしかないんだ。